

幻冬舎フィルム第一回作品

栄光の バックホーム

全ての横田慎太郎に捧ぐ。



製作総指揮：見城 徹 / 依田 巽

原作：「奇跡のバックホーム」横田慎太郎 (©本谷文男)

「栄光のバックホーム」中井由梨子 (©本谷文男)

シネラルプロデューサー：三田真奈美 プロデューサー：小玉七夫

企画・監督・プロデューサー：秋山 純 脚本：中井由梨子

松谷鷹也 鈴木京香 前田拳太郎
伊原六花 山崎紘菜 草川拓弥
萩原聖人 上地雄輔 古田新太
加藤雅也 小澤征悦 嘉島陸
小貫莉奈 長内映里香 長江健次
ふとがね金太 平泉成 田中健
佐藤浩市 大森南朋 柄本明
高橋克典
佐藤浩市 大森南朋
柄本明 / 高橋克典



<出演>

松谷鷹也 鈴木京香 前田拳太郎
伊原六花 山崎紘菜 草川拓弥
萩原聖人 上地雄輔 古田新太
加藤雅也 小澤征悦 嘉島陸
小貫莉奈 長内映里香 長江健次
ふとがね金太 平泉成 田中健
佐藤浩市 大森南朋 柄本明
高橋克典

<監督>秋山 純

<主題歌>「栄光の架橋」ゆず (SENHA)

(2025年/日本/2時間15分)

©2025「栄光のバックホーム」製作委員会

2013年のドラフト会議で阪神タイガースから2位指名を受けた横田慎太郎。2016年の開幕戦では一軍のスタメンに抜擢され初ヒットを放つ。誰もが彼の将来に大きな期待を寄せていた。ところが間もなく、ボールが二重に見えるという異変が生じる。医師の診断は“脳腫瘍”。21歳の若者には過酷な宣告だった。それでも慎太郎は、母のまなみをはじめ、家族や恩師、チームメイトら多くの人びとに支えられて、病との闘いに立ち向かっていく。そして、引退試合では「奇跡のバックホーム」を披露し、スタジアムは感動に包まれた。しかし、慎太郎のドラマはそこで終わりではなかった…。



2026年 10月22日(木)

①10:00開場 10:30上映
②14:00開場 14:30上映 (日本語字幕付き)

宝塚ソリオホール

(JR・阪急宝塚駅下車すぐソリオ1・3F)

【料金】一般 8/4 (火) 10:00 ~ 発売 前売1,000円・当日1,200円
(税込) 宝塚市文化財団友の会会員 7/28 (火) 10:00 ~ 先行発売 500円
U39 チケット (18~39歳) 8/4 (火) 10:00 ~ 発売 500円
詳細はウェブサイトへ→



全席自由

(ご入場は整理番号順(ご予約順)になります。
整理番号はチケットに記載、またはチケットれすQ
のバーコード画面に表示されます。)

チケット
発売所

ソリオホール、ベガ・ホール、文化創造館、文化芸術センター
ローソンチケット (Lコード 51039 店頭又は <https://t-tike.com>)

【主催・ご予約・お問い合わせ】(公財)宝塚市文化財団 TEL0797-85-8844 <https://takarazuka-c.jp/t-clip/>

【共催】兵庫県映画センター

◆当日券販売時間 9:30 ~ 10:30 / 13:30 ~ 14:30
(前売券発売の場合、当日券は販売いたしません。)

(未就学児入場不可) 14:30の回のみ
10/8までに要予約。
子ども一人2,000円